

2 回目は合宿！

卒業生のみなさん、こんにちは！

昨年発足した長崎大学 PHN 研究会（通称‘ぴかほし’）では、3月3日・4日のひな祭り、第2回目を開催しました。年度末の忙しい時期にもかかわらず、伊王島での「合宿」に11名の卒業生が参加しました。今回も参加者は1回生から6回生まで、学年や職場はバラバラです。

頭と体を使うグループワークだけでなく、美味しい食事と温泉と夜更けのガールズトークで時間いっぱい詰め込んだ週末となりました。

PCM を用いたプロジェクト・マネジメント

今回の講師は本学の大西真由美教授です。途上国での開発から国内保健事業計画まで広く用いられているPCM (Project Cycle Management) について学びました。といっても、今回はその一部である「問題分析・目的分析」を約1日かけて学んだこととなります。

事例は人口10万人のA市。A市の地理・経済・産業構造・人口動静態・住民の健康状況の概要をもとに、地域保健計画の立案を目指します。大西先生からレクチャーを受けながら、参加者は2チームに分かれ、A市の問題は何かをカードに書いて模造紙に貼る作業に入りました。まずはプロジェクトの「主となる問題（中心問題）」をグループで決定するのです。はじめはお互い遠慮しがちな参加者も、すぐに意見を出し合うようになりました。



「P」ポーズで集合写真。このほか、本田先生、1日目参加の錦戸さんも加えて総勢16名のグループワークでした。



両チームが選んだプロジェクトの問題は「A市のメタボを減らす」「A市の40-50代の肥満割合を減らす」というもの。偶然にも同じ方向のプロジェクトとなりましたね。（ちなみに、中尾理恵子先生は子供の虐待を減らすプロジェクトを練り上げていました）

プロジェクトの問題が決まったら、その問題の原因をカードに書いて掘り下げていきます。取り上げる問題の背景を、問題側から因果関係を考えながら整理して行くのです。

このPCMグループワークを通して大西先生が繰り返し口にされたのは「論理的に思考すること」「共通理解ができる国語力を磨くこと」でした。次のステップである目的分析では、問題分析がどのくらい深められ、具体的かつ論理的であったかが反映されます。

頭が疲れてきたところで1日目は終了。懇親会を兼ねた夕食では、長崎の海の幸を頂きながら、近況報告、悩み報告、将来の夢報告など和やかに過ごしました。

翌日はふたたびグループワークの続きを行いました。皆さん寝不足のような…？

参加者の感想

◇ 看護師から保健師に転職する A さん

病院で接する患者さんにも、たくさんの問題を抱えた人がいます。あれもこれもいろいろな問題に手をつけるのではなく、優先順位の高い問題を原因を突き詰めながら考えていけば、効果的な指導や介入ができるのかなと考えました。

◇ 包括支援センターで働く B さん

私の業務である介護予防ケアマネジメントでは、ケアプランを立てると、どうしてもサービスを利用すること自体が目的になってしまいがちなので、サービス自体は手段のひとつであると意識しながら、ケアプランを立てたり、利用者さんと関わるようには心掛けています。そんなとき PCM を使うと、普段何となくケアプランを立てる以上に、理論的にその方に必要なことを考えることができると思いました。

◇ 保健師 2 年目の C さん

演習を通して、あらためて自分の国語力を高めたいと実感しました。業務の中で

「事務職は目先のことしか考えてない」「お金のことしか考えてない」等、ついつい保健師同士で愚痴をこぼしてしまうこともあります。予算の調整など事務職の方の理解が必要なことも多々あるため、説得力のある説明をできるよう努力していきたいと思います。

こんな感想もありました。

「母校っていいな、温かいなと思いました。大学時代は看護の先輩や後輩と全く関わってなかったので、とても新鮮で刺激を受けます。ぴか☆ほしの集まりに参加するとすごく前向きな気持ちになります。」

うれしいですね！



大学の近況と次回のお知らせ

長崎大学医学部保健学科では、平成24年度入学者より保健師養成課程が選択制となりました。保健師免許取得希望者の学生さんは、所定の単位（選択科目）を取得することが必要となります。

大学院では、保健学専攻（修士課程）に加え、医療科学専攻リハビリテーション科学講座（博士課程）に地域リハビリテーション分野が開講しました。保健師で大学院へ進学する先輩も増えてきています。

卒業生のみなさんの学びたいと思う気持ちに添えることができると思います。また、悩んだ時も同じように大学を思い出してください。いつでも皆さんの帰りを待って、背中を支える大学でありたいと思います。

次回の第3回長崎大学 PHN 研究会は、下記の日程で開催します。

日時	7月15日（日）	時間未定
場所	長崎大学医学部保健学科	
講師	中尾理恵子准教授	
	「保健指導と行動変容理論について」	
参加費	500円	

6月ごろにお知らせを送付します。皆さんに会えるのを楽しみにしています。

ホームページも Open しました！
<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/kouiki-kango/index.html>



長崎大学 PHN 研究会 事務局

住所 〒852-8520 長崎県長崎市坂本1-7-1 長崎大学医学部保健学科（川崎涼子）

電話番号：(095) 819-7952

FAX：(095) 819-7952

電子メール アドレス：rkawasak@nagasaki-u.ac.jp